



子ども安全活動の方々の紹介 (No. 2)

上大森町



上大森町の玉緒街道交差点(点滅信号機設置点)で、朝の登校時に交通アドバイザーの河村恵子さん(滋賀県警より委嘱)が毎朝子どもたちの登校の見守り活動をされています。

「10年ほど前にここで子どもと車の接触事故があり、

それ以来毎日立つようにしています。私にとっては毎日の日課になっていますが、子どもたちが大きくなって挨拶してくれるのが嬉しいです。」といわれる河村さん。

又、下校時には集団下校日を除いて週4日、老人会の皆さんが交替でスクールガード活動(玉緒小学校よりの委嘱)をされています。



新大森



宝積の子ども安全リーダーの田中修三さん(民生委員も兼務)が新大森と大森町の中間にある交差点(信号機無し)の通学路で見守り活動をされています。

特にこの交差点は新大森・宝積・大森団地及びグリンピアの多くの子ども達(50人前後)の通学路となっています。田中さんは「この交差点は信号機がないので、車の通行に対しては特に気を遣っています。犬の散歩も一緒にでき、お陰で犬も私も元気を貰っています。」といっておられます。

『葉ボタンを使った寄せ植え教室』

- 日 時: 令和3年12月6日(月) 13:30~
 - 場 所: 玉緒コミュニティセンター
 - 費 用: 2,500円(鉢なし)当日徴収。
 - 持ち物: 手袋、移植ごて、マスク
 - 申 込: 玉緒コミュニティセンターまで(電話可)
- ※屋外での作業ですので、あたたかい服装でお越し下さい。
※詳細は、申込された方にお知らせします。



しよくどう みんな食堂 あじと

- 12月開催のお知らせ
- 【開催日時】 12月18日(土) 11時~
持ち帰り限定で、なくなり次第終了です。
 - 【場 所】 あじと(玉緒幼稚園横の家)
 - 【料 金】 1人200円
- 野菜・調味料など食材の寄付のお願い
- 【受付日】 12月16日(木)、17日(金)
 - 【受付場所】 あじと(玉緒幼稚園横の家)

玉緒キッズ みんなで楽しく!クリスマス会☆

今年のクリスマス会は、ガラスのお皿でサンドブラスト体験!自分だけのお皿を作ろう!

- 【日 時】 令和3年12月11日(土) 9:30~12:00頃(9:00受付スタート)
 - 【会 場】 玉緒コミュニティセンター
 - 【募集人数】 地区内小学生とその保護者 20人
(3年生以下の方は保護者の付き添いが必要です。)
 - 【参加費】 500円(当日いただきます)
 - 【持ち物】 フェイスタオル(作業時に敷き、持ち帰る時にお皿を包んでもらいます。)-色鉛筆
 - 【参加申込】 11月22日(月)~26日(金)16:00までに玉緒コミュニティセンターまで(電話可)
- ※ 詳しくは、学校を通じてお配りするお知らせをご覧ください。



作品例

各事業に参加して下さる方へ

- ※ マスク着用・手指消毒にご協力お願いいたします。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。
- ※ 当日体調がすぐれない、発熱等の症状がある場合には、ご出席を見合わせていただきますようお願いいたします。



ハートフル玉緒

玉緒地区まちづくり協議会だより 事務局:玉緒コミュニティセンター内(TEL 22-6479 IP 050-5801-6479)



今年も菊が満開です



※まちづくり協議会ではみなさんからの情報をお待ちしています。お気軽に声をかけて下さい。


玉緒まちあるき

最上氏の遺構を訪ねて



最上家について

清和天皇を祖とする源氏の子孫が、山形城を築いた最上家は、最上家11代 最上義光（よしあき）の時に、関ヶ原の合戦の論功の結果（1602年）、出羽山形で57万石の大名となる。
 最上家13代 最上義俊12歳で家督を継ぐが、4年後の（1622年）「最上騒動」の内紛により出羽の国所領を没収。新たに近江の国蒲生、愛知、甲賀3郡及び三河の国の1万石を授かる。更に、最上家14代 最上義智（よしさと）2歳で家督を相続。家臣相談して、三河の5千石を幕府に返納。15歳で初めて大森に移住する。最上家の統治は、明治維新まで続きました。

最上家の家紋

 「丸に二引両」

最上氏の領地（5千石）
 蒲生郡（上大森、大森、尻無、野口、稻垂、石原、小御門）
 愛知郡（池庄）
 甲賀郡（市之瀬、上野）



鳥越氏の長屋門形式の門
 最上家の家老職であった家柄。門の扉口の両側に部屋が連なる形式の門。各部屋は門番等の家臣が居所として利用していました。



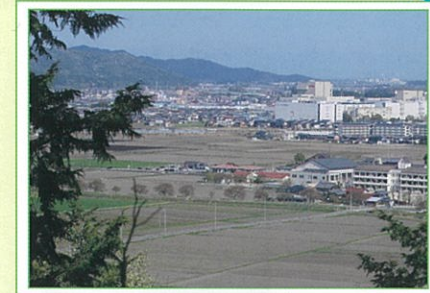
大森陣屋跡記念碑
 現玉緒小学校の敷地の一部に最上氏大森陣屋が明治維新までありました。



妙応寺
 最上家の菩提寺と定められ、大森で亡くなられた方（3藩主）は葬られています。本堂内、向って右の1室は、最上家の位牌安置所になっています。



長福寺
 本堂は元大森陣屋の表玄関をそのまま移築されたものです。なお、大森陣屋の表門は、石塔寺の山門として、移築されています。



大森城址から眺望する
 最上義智は大森山上に亭を築き、眺望の詩文を詠う。
 「大森眺望四首」
 （大森の東西南北の風景をテーマとした内容です。）



上大森町八坂神社
 最上義智が1650年に、剣・鉾・神輿の鈴12個を寄進されています。



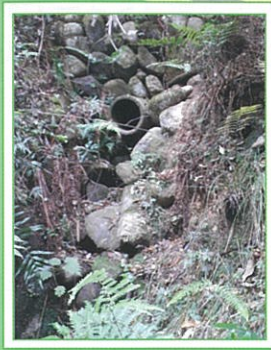
尻無町八坂神社
 八坂神社で踊られている最上踊りは、紫の和服に編み笠姿で踊られる「男御踊」（オongoドリ）と言われています。



尻無町マンボ
 （農業用灌漑施設）
 布引丘陵の「長谷溜」から約220mの隧道を設けて、旧向山溜まで稲作用水を引いてきていました。築造は、宝暦8年（1758年）です。



大森神社
 最上家が産土神（うぶすな）として信仰され数々の寄進をされています。鐘樓の鐘、石灯笼等々。大森町・尻無町の最上踊りは、「県指定の無形民俗文化財」。大森神社の踊りは、「姫御踊」（ヒメゴドリ）と言われています。



大森町マンボ（農業用灌漑施設）
 大森城址南側にある「六之谷の溜」から隧道を設けて、丘陵を超えて稲作用水を引いてきていました。

尻無町

至 近江八幡

大森町

県道高木八日市線

文 玉緒小学校

県道八日市蒲生線

向山調整池

蛇砂川

上大森町

至 永源寺

至 蒲生